



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月13日
上場取引所 東

上場会社名 伯東株式会社
コード番号 7433 URL <https://www.hakuto.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 龍三郎
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 海老原 憲 TEL 03-3225-3412
四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	113,592	8.2	2,627	△7.7	2,410	△16.4	1,743	△7.5
2019年3月期第3四半期	104,947	△0.7	2,847	△0.7	2,881	△4.4	1,883	△33.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,353百万円 (152.1%) 2019年3月期第3四半期 933百万円 (△79.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	84.83	—
2019年3月期第3四半期	90.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	106,531	55,754	52.3	2,712.59
2019年3月期	87,826	54,635	62.2	2,658.10

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 55,754百万円 2019年3月期 54,635百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2020年3月期	—	30.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 10円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	14.2	4,000	9.8	4,000	11.7	2,800	13.2	136.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注)詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	24,137,213株	2019年3月期	24,137,213株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	3,583,121株	2019年3月期	3,582,961株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	20,554,173株	2019年3月期3Q	20,880,344株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は米国の底堅い景気拡大が続く中、米中貿易摩擦の長期化による中国経済の減速、英EU離脱に向けた動き等、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

我が国経済は雇用・所得環境は改善が継続したものの、海外需要の減少や在庫調整により生産活動が減速するなど今後の影響が深刻化してきております。

当社グループが主力事業を展開するエレクトロニクス業界においては5G通信機器関連及び自動車分野におけるADAS関連の需要が堅調でしたが、産業機器向け分野は依然として低調に推移しました。

このような状況の下、当社グループの電子部品事業においては、引き続き光通信関連向け及び自動車関連の半導体デバイスの需要が堅調に推移し、加えて新たな商流獲得もあり、売上高は電子部品事業全体で前年四半期を大きく上回りました。

電子・電気機器事業においては国内5G投資関連が好調であったものの、前四半期同様、スマートフォン関連向けプリント基板製造用露光装置の販売が伸び悩み前年同四半期より減収となりました。

工業薬品事業に関しては石油精製関連薬品が順調に推移しており、化粧品基剤の需要も増加が続いており、前年同期比増収を続けております。

このような環境下において、連結売上高は1,135億92百万円（前年同期比8.2%増）となりました。損益面につきましては、当第3四半期連結累計期間の連結売上総利益は138億23百万円（同1.3%減）となり、連結販売費及び一般管理費として111億95百万円（同0.3%増）を計上した結果、連結営業利益は26億27百万円（同7.7%減）、連結経常利益は24億10百万円（同16.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億43百万円（同7.5%減）となりました。

また、1株当たり四半期純利益は84円83銭となり、前年同四半期より5円40銭減少いたしました。

報告セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。

[電子部品事業]

電子部品分野では、中国経済の低迷により家電向け半導体デバイスが低調に推移したものの、国内通信向けの光関連部品が好調を維持し、また海外ではスマートフォン向け電子部品も増加いたしました。自動車関連については新車販売の不振から前年比伸び悩みも、新たな商流獲得により売上が増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は908億23百万円（前年同期比11.5%増）となりましたが、為替変動及び利益率の高い分野の販売減少により、セグメント利益は9億27百万円（同29.8%減）となりました。

[電子・電気機器事業]

電子・電気機器分野では引き続き、スマートフォン製造関連向けプリント基板露光装置の不振が続き、化合物半導体関連機器など一部に好調さは見られたものの総じて低調に推移しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は142億53百万円（前年同期比6.3%減）となりましたが、比較的利益率の高い半導体関連機器の販売により、セグメント利益は8億98百万円（同17.5%増）となりました。

[工業薬品事業]

工業薬品分野では、紙・パルプ分野の漸減傾向が続いているものの、重合禁止剤を中心とした石油化学関連や石油精製関連の薬品は引き続き堅調に推移しました。化粧品分野においては化粧品基剤の販売が好調を維持しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は84億93百万円（前年同期比3.2%増）となりましたが、人件費の上昇に伴う製造コストや輸送コストの増加等により、セグメント利益は7億24百万円（同4.0%減）となりました。

[その他の事業]

当社の業務・物流管理全般の受託と保険会社の代理店を主たる業務としております。当第3四半期連結累計期間の売上高は5億40百万円（前年同期比3.5%増）、セグメント利益は20百万円（同22.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①連結財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して187億5百万円増加し、1,065億31百万円となりました。これは主に、商品及び製品が86億28百万円、受取手形及び売掛金が62億72百万円増加したためであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して175億85百万円増加し、507億76百万円となりました。これは主に短期借入金が134億30百万円、長期借入金が36億50百万円増加したためであります。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して11億19百万円増加し、557億54百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が6億2百万円したためであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは142億75百万円の支出、投資活動によるキャッシュ・フローは2億21百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは157億38百万円の収入となったため、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して12億57百万円増加し、当第3四半期末は88億66百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益25億21百万円等の収入要因がありましたが、たな卸資産の増加88億3百万円、売上債権の増加70億29百万円等の支出により、営業活動によるキャッシュ・フローは142億75百万円の支出となりました。なお、前年同四半期にはたな卸資産の増加等により13億35百万円の支出となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資有価証券の売却による収入1億85百万円等の収入要因がありましたが、有形固定資産の取得による支出2億29百万円等により、投資活動によるキャッシュ・フローは2億21百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には有形固定資産の取得による支出等により、1億93百万円の支出となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払額12億3百万円等の支出要因がありましたが、短期借入による収入(純)125億28百万円、長期借入による収入(純)45億32百万円等により、財務活動によるキャッシュ・フローは157億38百万円の収入となりました。なお、前年同四半期には、短期借入金の返済による支出(純)等により、22億36百万円の支出となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年5月8日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,608	8,866
受取手形及び売掛金	31,151	37,424
電子記録債権	5,981	6,678
商品及び製品	24,820	33,449
仕掛品	32	41
原材料及び貯蔵品	550	725
その他	1,784	2,282
貸倒引当金	△29	△48
流動資産合計	71,901	89,420
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	980	976
機械及び装置（純額）	2,069	1,917
土地	3,069	3,069
その他（純額）	519	988
有形固定資産合計	6,638	6,952
無形固定資産		
	325	358
投資その他の資産		
投資有価証券	8,446	9,259
繰延税金資産	142	178
その他	401	392
貸倒引当金	△30	△30
投資その他の資産合計	8,960	9,799
固定資産合計	15,924	17,110
資産合計	87,826	106,531

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,881	16,853
電子記録債務	2,742	2,515
短期借入金	7,733	21,163
リース債務	19	241
未払法人税等	896	164
賞与引当金	1,024	684
製品保証引当金	7	5
その他	2,346	2,340
流動負債合計	30,650	43,969
固定負債		
長期借入金	589	4,240
リース債務	45	271
繰延税金負債	1,489	1,896
役員退職慰労引当金	14	12
退職給付に係る負債	384	371
その他	16	16
固定負債合計	2,540	6,807
負債合計	33,190	50,776
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,100	8,100
資本剰余金	7,289	7,289
利益剰余金	40,460	40,970
自己株式	△5,876	△5,877
株主資本合計	49,973	50,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,028	4,631
繰延ヘッジ損益	△1	8
為替換算調整勘定	942	909
退職給付に係る調整累計額	△307	△277
その他の包括利益累計額合計	4,661	5,271
純資産合計	54,635	55,754
負債純資産合計	87,826	106,531

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	104,947	113,592
売上原価	90,942	99,768
売上総利益	14,005	13,823
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	3,987	4,085
賞与引当金繰入額	726	636
退職給付費用	372	328
その他	6,071	6,144
販売費及び一般管理費合計	11,158	11,195
営業利益	2,847	2,627
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	140	135
持分法による投資利益	47	—
その他	84	78
営業外収益合計	280	220
営業外費用		
支払利息	36	45
売上債権売却損	69	64
為替差損	121	270
クレーム処理費	3	—
持分法による投資損失	—	13
その他	15	44
営業外費用合計	245	438
経常利益	2,881	2,410
特別利益		
固定資産売却益	6	7
投資有価証券売却益	40	106
その他	4	4
特別利益合計	52	118
特別損失		
固定資産除売却損	2	7
投資有価証券評価損	99	—
倉庫移転費用	40	—
その他	0	0
特別損失合計	142	7
税金等調整前四半期純利益	2,791	2,521
法人税等	907	778
四半期純利益	1,883	1,743
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,883	1,743

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,883	1,743
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,091	602
繰延ヘッジ損益	△5	9
為替換算調整勘定	91	△32
退職給付に係る調整額	54	29
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△950	609
四半期包括利益	933	2,353
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	933	2,353

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,791	2,521
減価償却費	501	638
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△153	△340
受取利息及び受取配当金	△148	△142
支払利息	36	45
持分法による投資損益 (△は益)	△47	13
投資有価証券売却損益 (△は益)	△40	△106
投資有価証券評価損益 (△は益)	99	—
固定資産除売却損益 (△は益)	14	△0
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3	11
売上債権の増減額 (△は増加)	△956	△7,029
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,431	△8,803
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,548	823
その他	△884	△671
小計	△673	△13,039
利息及び配当金の受取額	160	155
利息の支払額	△36	△45
法人税等の支払額	△785	△1,345
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,335	△14,275
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	183	—
有形固定資産の取得による支出	△291	△229
有形固定資産の売却による収入	7	7
無形固定資産の取得による支出	△7	△151
投資有価証券の取得による支出	△120	△40
投資有価証券の売却による収入	50	185
その他	△14	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△193	△221
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	47,390	105,280
短期借入金の返済による支出	△47,863	△92,752
リース債務の返済による支出	△28	△119
長期借入れによる収入	—	5,500
長期借入金の返済による支出	△816	△967
自己株式の増減額 (△は増加)	18	△0
配当金の支払額	△937	△1,203
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,236	15,738
現金及び現金同等物に係る換算差額	120	16
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,644	1,257
現金及び現金同等物の期首残高	9,245	7,608
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	371	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,973	8,866

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より一部の海外子会社においてIFRS16号「リース」を適用しております。これにより、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。当該会計基準の適用にあたり、当社グループは経過措置として認められている累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第3四半期連結貸借対照表において有形固定資産の「その他」が441百万円、流動負債の「リース債務」が221百万円、固定負債の「リース債務」が228百万円それぞれ増加しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	81,477	15,217	8,231	521	105,448
セグメント利益	1,321	765	755	26	2,869

当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	90,823	14,253	8,493	540	114,111
セグメント利益	927	898	724	20	2,572

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

売上高	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
報告セグメント計	105,448	114,111
セグメント間取引消去	△500	△518
四半期連結財務諸表の売上高	104,947	113,592

(単位: 百万円)

利益	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
報告セグメント計	2,869	2,572
のれんの償却額	△8	△8
その他の調整額	△13	63
四半期連結財務諸表の営業利益	2,847	2,627

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。